

テーマ別会議2013
歴史文化遺産と人材育成

奈良教育大学 中澤静男

昨年度までの議論

昨日の議論の一つのポイント

- 地域ガバナンスを徹底的に高める

行政はもちろん重要だが、市民のイニシアチブも重要

- アーカイブ化を進める

作成のプロセスにこそ学びがある。
皆で成長する教材づくりが楽しい(クックパッド)

- 優れた実践を積極的にほめる

みんなでグッドプラクティスをほめて共有する

市民のイニシアチブ(やる気)を
引き出す

市民のイニシアチブ(やる気)を
引き出す



当事者意識を育てる

ESDストラテジー

なるほど、なるほど

行動化

持続可能な社会
づくりに関わる
課題の追究

地域を大切に思う心



歴史文化遺産の学び

実物にふれる
(体感を通じた学び)
人物の営みを知る



地域への誇り
地域を大切にする心



歴史文化遺産の学びの場

- 学校教育 授業

ユネスコスクール

大人の文化遺産の学びの場

講 演 会

おもしろくないし……



大人の文化遺産の学びの場

楽しそう

教育と観光の融合



昨日の議論をふまえると

教育と観光とまちづくり
の融合



なるほど

歴史文化遺産によるESD人材育成

キーワードは

ユネスコスクール
教育と観光の融合

歴史文化遺産ESDのブーム



Informational sign with text and graphics, partially obscured.

二月全奉納

先進事例から学ぶ

(1) ESD奈良円卓会議

奈良教育大学副学長 加藤久雄氏

(2) 大田市石見銀山の取組

大田市教育長 大國晴雄 氏

(3) 矢掛高等学校・矢掛町の取組

矢掛中学校主幹教諭 室貴由輝 氏

(4) 和気閑谷高等学校の取組

和気閑谷高等学校長 香山真一 氏

テーマ別ワークショップ

- (1) 多様なステークホルダーによるプラットフォーム（寄合）の形成の意義
- (2) 実践を推進する人材の育成
- (3) 実践（プラットフォーム）の継続を裏付ける基盤について

まとめ

個々人のビジョンを
明確する力

プラットフォームについて

ステップ1 明確な目的意識でミニプラ

ステップ2 他のミニプラとの出会いの場づくり

組織ではなく、個人と個人の出会い
多方面に関心のある人がキーになる

ステップ3 コーディネート

新しい人の出入りのあるプラットフォーム
現場に関わること(小中高大で経験することが大事)
プラットフォームの発展と継続

元気に・アイデンティティ

まとめ2

市民のやる気を引き出す人材育成

おもしろさ

若手の育成(小中高12年間の連携)

地域を巻き込む 町の魅力発見

外へ出て人と出会う おもしろさ

当事者意識・やる気(大人も子どもも)

まとめ3

- 継続の基盤
スタートは行政でもよいが、継続するには
民間の財政支援 必要性とよさのアピール
- 活動の拠点づくり
学校教育・生涯教育（公民館）
地域の人や保護者の参加を促す
- 地域おこし協力隊を教育分野に生かすの1案
- 地域の人に関わる基盤はつづく

まとめのまとめ

